

2018年6月15日

 近鉄不動産株式会社
 阿倍王子神社

～3度甦った！「阿倍野神輿」～
あべのハルカスから大阪中を厄祓い&運氣上昇祈願
 阿倍野の厄年男がわっしょいわっしょい！地上300mの夏祭り！

阿倍王子神社の「阿倍野神輿」が、大阪一円を見渡せる日本一高いビルの展望台「ハルカス300」に上り、大阪の厄除けと運氣上昇を祈願することとなりましたのでお知らせします。

～「阿倍野神輿のはじまりと、1度目の復活」～

今から約130年前、大阪船場・安土町の商人たちが地元の八幡さま（氏神さま）のために新しく神輿を作りました。この神輿は当時、毎年、夏祭りに担がれていましたが、神社の数を整理して少なくすることを目的にした「神社合祀令」という国の命令によって、1907年（明治40年）八幡さまは阿倍野の王子神社（阿倍王子神社）に移りました。八幡さまは阿倍王子神社に合祀され、神輿は阿倍野まで運ばれます。

当時、大阪南部の片田舎から急速に発展を遂げていた阿倍野の地で、船場で親しまれた神輿巡幸は復活し、夏祭りは活気あふれるものだったとのこと。

～「戦災を乗り越えて、2度目の復活」～

地元の方々に愛された神輿でしたが、第二次世界大戦がはじまり、大規模な空襲で船場・安土町は焼け野原となり、阿倍野も戦災に遭いますが阿倍王子神社は奇跡的にこれを免れました。戦後復興と共に神輿巡幸は再び復活を遂げました。その活気は戦災で傷ついた街に希望を与えたと言います。

しかし平成の時代に入り、世話人の減少と共に巡幸は中止とされ、神輿は十数年の間、蔵の奥で出番を待ち続けました。

～「3度目の復活、そしてハルカスへ」～

2017年の秋、神社で厄除け祈願を受けられた方々から「厄年に神輿を担いで神様のお役に立ちたい」という希望が寄せられ、神輿巡幸は有志の力によって3度目の復活を遂げました。その時「今度は阿倍野の新しいシンボル、あべのハルカスへ」という声が上がりました。

あべのハルカスにとっても阿倍王子神社は建設時をはじめ、様々な場面で安全祈願などをしていただいております。かねてよりご縁がありました。

神輿の巡幸には、厄祓いと運氣上昇の意味があり、当日は近鉄大阪阿部野橋駅の交通安全祈願などを経て、最後は大阪一円を見渡せる「ハルカス300（展望台）」で厄祓いと運氣上昇を祈願します。

何度も災難を払って甦るこの「阿倍野神輿」にあやかって、皆様も厄除け、運氣上昇のご利益をいただいで下さい。



「2017年度秋祭りの様子」



「ハルカス300 58階」

1. 概要

開催日時：2018年6月24日（日）
9時30分～12時00分頃
※雨天決行

担ぎ手：今年厄年の男性を中心とした有志の皆様

2. 時間（予定）・巡幸ルートイメージ



※図はイメージです。

10:30 あべのハルカス58階（雨天時60階）

- ・「ハルカス300展望台」で大阪中を厄祓い運氣上昇祈願

～エレベーターで58階へ～

10:00 あべのハルカス17階

- ・エレベーターにお神輿を積載できるよう担ぎ棒などを取り外します。

9:50 あべのハルカス16階

- ・美術館、展望台入口前を一周し、商売繁盛を祈願します。

～エレベーターで16階へ～

9:40 あべのハルカス外周

- ・阿倍野の街に活気あふれるかけ声が響きます。

9:30 近鉄大阪阿部野橋駅1Fコンコース
（あべのハルカス1F）

- ・交通安全祈願をします。

<ご参考>

- ・「阿倍野神輿」のご神体について
厄除開運の神様で、あらゆる物事を成功へ導くご利益があるとされています。
- ・大阪締め（おおさかじめ）について
「阿倍野神輿」の祈願は大阪で古くから伝わる、手締めの方法である「大阪締め」で行われます。祝福の言葉に込めた「言霊」の力でさらなる発展を願う意味が込められています。

- ①うーちまひょ パンパン（2度手をたたく）
- ②もひとつせ パンパン（2度手をたたく）
- ③いわうてさんど パッパンパン（3度手をたたく）



「阿倍王子神社」